

非正規労働者の処遇改善の実態に関するアンケート調査

～ご協力のお願～

拝啓 時下ますますご清祥の事と推察申し上げます。

本調査は、非正規労働者の処遇改善の実態を把握するために、独立行政法人 労働政策研究・研修機構が行うものです。本調査の結果は、良好な就業環境を構築するために、当機構が行う研究成果報告および政策提言に活用させていただきます。調査実施への趣旨にご理解頂き、調査へのご協力を賜れば幸甚でございます。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、調査票にご記入の上、ご返送頂ければと存じます。

敬具

2016年7月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

ご記入上のお願

- 1 特に断り書きがない場合は、**2016年6月30日現在**の状況についてお答えください。
- 2 該当する選択肢に○をつけるか、または、該当する数字をご記入ください。
- 3 **調査票到着から2週間程度**でご回答頂き、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。
- 4 この調査では、貴組合全体だけではなく、**特定の事業所（貴組合の支部）**についてもおうかがいします。
その事業所とは、2016年6月30日現在、非正規労働者が最も多い事業所になります。
- 5 ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

※お問合せ時間（平日）10：00～～18：00

【 調査票の記入方法・回収についての問合せ先 】

株式会社 RJC リサーチ

担当：瀬谷、藤井

(TEL：03-6409-6295、FAX：03-5420-5081)



このマークは個人情報の保護措置が適切であると認定された事業者に付与されるものです。一般財団法人日本情報経済社会推進協会が審査・認定します。皆様から得られた個人情報の保護・取扱いには十分な注意を払います。

【 調査票の内容・趣旨についての問合せ先 】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 総合政策部門

担当：前浦（まえうら） TEL：03-5991-5135

すべての方におうかがいします。**2016年6月30日現在、非正規労働者が最も多く働く事業所についてお答えください。**

1. 事業所で働く非正規労働者の処遇・仕事・役割について

問1 事業所で最も多くの従業員が働く部門はどれですか。あてはまる番号を1つに、○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 事務・企画部門 | 3. 現業部門 | 5. その他の部門 |
| 2. 開発・技術部門 | 4. 販売・営業部門 | (具体的に：) |

[次頁へ続く](#)

問2 2016年6月30日現在の事業所の総従業員数と支部の総組合員数をお答えください。雇用形態の定義については、下記の通りです。該当する従業員がいない場合は、「0」を記入してください。

雇用形態の定義：下記の定義に該当しない場合は、その他でお答えください。

正社員	勤務地、労働時間、職種などに限定のない貴社の一般的な社員（無期雇用）を指します。
パート	一般的に、1週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用される通常の労働者（正社員）の1週間の所定労働時間に比べて短い労働者（有期雇用）です。フルタイムであっても、事業所でパートと呼ばれている方は、ここに含めてください。ただし定年後の再雇用者と学生アルバイトは除きます。
契約社員	フルタイムで期間を定めて雇用する者（有期雇用）を指します。契約社員と呼ばれている方で、 <u>正社員よりも1週間の労働時間が短い方と定年後の再雇用者は除きます。</u>
定年後の再雇用者（嘱託を含む）	定年年齢を迎えた後も働き続ける有期雇用者を指します。一般に、嘱託と言われる雇用形態です。

		当該事業所の総従業員数	当該支部の総組合員数	うち専従者数
正社員		()人	()人	()人
非正規労働者	パート	()人	()人	()人
	契約社員	()人	()人	()人
	定年後の再雇用者（嘱託を含む）	()人	()人	()人
	その他 ()	()人	()人	()人
合計		()人	()人	()人

問3 事業所のなかで、正社員とほぼ同じ仕事を担当する非正規労働者の賃金はどのくらいになりますか。時間当たりの賃金額でお答えください。複数の雇用形態が該当する場合は、人数が最も多い雇用形態でお答えください。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 正社員以上もしくは10割 | 3. 正社員の8割程度 | 5. 正社員の6割程度 | 7. 5割未満 |
| 2. 正社員の9割程度 | 4. 正社員の7割程度 | 6. 正社員の5割程度 | 8. 該当者がいない |

問4 問3でご回答頂いた非正規労働者の賃金水準は、何を基準（根拠）に設定されたものですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|
| 1. 同業他社の制度・賃金水準 | 5. 非正規労働者の意見 | 9. 最低賃金額 |
| 2. 地域の相場 | 6. 上部団体の方針や助言 | 10. 過去の判例 |
| 3. 官庁統計などのデータ | 7. 行政機関が出すガイドライン等 | 11. その他 () |
| 4. 正社員組合員の意見 | 8. 弁護士や社労士等の助言 | 12. 明確な基準や根拠はない。 |

問5 問3でご回答頂いた非正規労働者は、どのような役割を担っていますか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 通常業務を通じた非正規労働者の技能向上 | 5. 職場の目標の設定 |
| 2. 非正規労働者を対象とした研修の企画や運営 | 6. 原価や売り上げ等の管理 |
| 3. 非正規労働者の勤務日程（シフト）の管理・調整 | 7. いずれにも責任を負ったり関与したりしない |
| 4. 非正規労働者の勤務評価の実施 | |

問6 問3で2～7を選んだ方におうかがいします（それ以外の方は問7にお進みください）。「正社員との賃金格差」に対して、貴組合はどのようにお考えですか。それぞれについて、あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1. いまの格差のままでよい | 3. 決まっていない |
| 2. 格差を縮める必要がある | 4. その他（ ） |

問7 事業所の従業員のうち非正規労働者の雇用実態について、雇用形態別ご回答ください。

ご記入にあたって

「主な職種」：最も多くの人が従事している職種を以下の選択肢から1つ選んで、番号をご記入ください。

1. サービスの仕事	5. 生産工程の仕事	9. 専門的・技術的な仕事
2. 事務的な仕事	6. 輸送・機械運転の仕事	10. 管理的な仕事
3. 販売の仕事	7. 運搬・清掃・包装等の仕事	11. その他の仕事
4. 保安の仕事	8. 建設・採掘の仕事	

	例) パート	パート	契約社員	定年後の再雇用者 (嘱託を含む)	その他 ()
(1) 主な職種	最も多くの人が従事している職種1つに、番号をご記入ください。				
	(3)	()	()	()	()
(2) 最も人数が多い属性	あてはまる番号すべてに、○をつけてください。				
1. 35歳未満の独身者	(1)	1	1	1	1
2. 主婦層	2	2	2	2	2
3. 高齢者 (65歳以上)	3	3	3	3	3
4. 外国人	4	4	4	4	4
5. その他	5	5	5	5	5
(3) 契約期間の定め方	あてはまる番号を1つに、○をつけてください。				
1. 一律に定めている	(1)	1	1	1	1
2. 従業員ごとに定めている	2	2	2	2	2
3. 契約期間の定めはない ⇒ (5) へ	3	3	3	3	3
(4) 契約更新	あてはまる番号を1つに、○をつけてください。				
1. 原則として更新する	1	1	1	1	1
2. 原則として更新する (ただし回数制限あり)	(2)	2	2	2	2
3. 原則として更新しない	3	3	3	3	3
(5) 1週間の所定労働時間	あてはまる番号を1つに、○をつけてください。				
1. 一律に定めている	(1)	1	1	1	1
2. 従業員ごとに定めている	2	2	2	2	2
3. 定めていない	3	3	3	3	3
(6) 配置転換の有無	あてはまる番号を1つに、○をつけてください。				
1. 転居を伴う配転あり	1	1	1	1	1
2. 転居を伴わない配転あり	(2)	2	2	2	2
3. なし	3	3	3	3	3

問8 正社員の仕事と非正規労働者の仕事の重なり（図中の影の部分）は、下のどの図に近いですか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。非正規労働者については、人数が最も多い雇用区分でお答えください。

正社員が主に行う仕事 ↑

↓ 非正規労働者が主に行う仕事

あてはまる番号1つに ○をつけてください

1	2	3	4
正社員と非正規労働者の仕事は区別されている	正社員は、非正規労働者が主に行う仕事を担当することがある	非正規労働者は、正社員が主に行う仕事を担当することがある	非正規労働者が正社員と同じ仕事をする
⇒問10へ	⇒問9へ	⇒問9へ	⇒問9へ

問9 問8で2～4を選んだ方におうかがいします。非正規労働者と正社員の仕事が重なる部分（問8の図中の影部分）の仕事はどのような仕事ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1. 単純・定型業務 2. 管理・監督業務 3. 高度な専門的業務 4. 判断業務を含む非定型業務

すべての方におうかがいします。以下の設問について、貴組合全体についてお答えください。

2. 非正規労働者の人事管理について

問10 貴組合は2016年に賃上げを要求されましたか。あてはまる番号を1つずつ選んで、○をつけてください。

正社員	1. 要求した	2. 要求していない
パート	1. 要求した	2. 要求していない
契約社員	1. 要求した	2. 要求していない

問11 2015年と2016年の正社員、パート、契約社員の平均賃金額をご記入ください。平均賃金は、**所定内給与と所定外給与をあわせたもので、ボーナスは含みません。**貴社にいない雇用形態については、「×」をご記入ください。

雇用形態	2015年の平均賃金額	2016年の平均賃金額
正社員	平均月給（ ）円	平均月給（ ）円
パート	平均時給（ ）円	平均時給（ ）円
契約社員	平均月給（ ）円	平均月給（ ）円

問12 非正規労働者の賃金制度は、何を参考にして構築されましたか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。非正規労働者については、最も人数が多い雇用形態でお答えください。

1. 正社員（総合職） 3. 限定正社員 5. 同業他社の非正規労働者 7. 賃金制度はない
 2. 事業所の正社員 4. 貴社の他の非正規労働者 6. その他（ ）

問13 貴社の正社員と非正規労働者の賃金の上がり方は、下記のどれに近いですか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。非正規労働者については、最も人数が多い雇用形態でお答えください。

	賃金は原則上がらない	採用後、3年程度は上がる	原則として、増加し続ける	ほぼ定額であるが能力による差がある	賃金の上がり方に能力による差がある
正社員	1	2	3	4	5
非正規労働者	1	2	3	4	5

問14 貴組合は、従業員のどの範囲にまで賃金制度（非正規労働者の賃金制度を含む）を周知されていますか。正社員と非正規労働者の賃金制度それぞれについて、あてはまる番号1つに、○をつけてください。非正規労働者については、最も人数が多い雇用形態でお答えください。

正社員の賃金制度	非正規労働者の賃金制度
1. 全従業員（非正規労働者を含む）	1. 全従業員（非正規労働者を含む）
2. 全組合員（非正規労働者を含む）	2. 全組合員（非正規労働者を含む）
3. 正社員（組合員）のみ	3. 正社員（組合員）のみ
4. その他（ ）	4. その他（ ）
5. 賃金制度は開示していない	5. 賃金制度は開示していない
6. 賃金制度がない	6. 賃金制度がない

問15 貴社には、人事評価制度はありますか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。なお非正規労働者については、最も人数が多い雇用形態でお答えください。

1. ある ⇒ 附問へ 2. ない（検討中を含む） ⇒ 問16へ

附問 問15で1を選んだ方におうかがいします。人事評価はどの頻度で行われますか。正社員と非正規労働者のそれぞれについて、あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- a. 正社員 …… 1. 定期的に行う 2. 必要があれば適宜行う 3. 行わない
b. 非正規労働者 …… 1. 定期的に行う 2. 必要があれば適宜行う 3. 行わない

⇒問16へ

問16 貴社では、非正規労働者が正社員に登用されることがありますか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

1. 正社員登用制度があり、非正規労働者から正社員への登用がおこなわれる ⇒附問へ
2. 正社員登用制度はないが、非正規労働者から正社員への登用がおこなわれることがある ⇒附問へ
3. 非正規労働者の正社員への登用は行われない ⇒問17へ

附問 問16で1もしくは2を選んだ方におうかがいします。貴社では、非正規労働者を正社員に転換する際に、以下のどの区分での登用することが一般的ですか。あてはまる番号を1つに、○をつけてください。

1. 仕事内容や勤務地が限定されない正社員 3. どちらともいえない
2. 仕事内容や勤務地が限定される正社員 4. 正社員に区分はない

⇒問17へ

すべての方におうかがいします。以下の設問について、貴組合全体の組織化の状況についてお答えください。

3. 貴組合の組織化活動について

問17 貴組合では、非正規労働者に組合加入資格がありますか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 組合加入資格があり、実際に組合員がいる | } 問18へ |
| 2. 組合加入資格があり、現在、組合員はいない | |
| 3. 組合加入資格はないが、現在、組織化の方向で検討している | |
| 4. 組合加入資格はなく、現在、特別に組織化の取り組みはしていない | |

問18 問17で1～3に回答した方におうかがいします。貴組合が非正規労働者を組織化した、あるいは組織化を検討している理由は何ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 事業所で非正規労働者の人数が増えたから | 7. 上部団体からの要請を受けたから |
| 2. 非正規労働者の能力や意欲が高まってきたから | 8. 非正規労働者の苦情処理が必要だから |
| 3. 事業所における過半数組合の立場を確保したいから | 9. 正社員と非正規労働者のコミュニケーションをよくしたいから |
| 4. 別の組合が非正規労働者を組織化することを避けたいから | 10. 非正規労働者の事業所への定着をよくしたいから |
| 5. 組合の交渉力を強化したいから | 11. 非正規労働者の雇用を守りたいから |
| 6. 非正規労働者の労働条件を向上させたいから | 12. 非正規労働者の生産性を向上させたいから |
| | 13. その他(具体的に: _____) |

※問17で1もしくは2を選んだ方は問19へ、問17で3を選んだ方は問26へお進みください。

問19 非正規労働者の組織化を最初に会社に申し入れた時と組織化に取り組んだ時の会社の反応はどうでしたか。それぞれについて、あてはまる番号1つに、○をつけてください。なお複数の非正規労働者を組織化している場合は、直近で組織化した非正規労働者についてお答えください。

- | | | | | | |
|------------|-----------|---------|------------|---------|-----------|
| 最初に申し入れた時 | 1. 強く反対した | 2. 反対した | 3. どちらでもない | 4. 賛成した | 5. 強く賛成した |
| 組織化に取り組んだ時 | 1. 強く反対した | 2. 反対した | 3. どちらでもない | 4. 賛成した | 5. 強く賛成した |

問20 貴組合では、非正規労働者の組織化に関して、会社の同意を得るまでに何年くらいかかりましたか。

①組合内で組織化の議論を始めて、方針を決定するまでの期間と、②会社に対して組織化を申し入れてからの期間を、それぞれお答えください。なお②には、事前の労使の話し合いを含みます。

- | | |
|------------------------------|--------------|
| ①組合内で組織化の議論を始めて、その方針を決定するまで | およそ()年()ヵ月 |
| ②会社に対して組織化を申し入れてから会社の同意を得るまで | およそ()年()ヵ月 |

問21 非正規労働者を組織化する過程において、貴組合が最も苦労した点は何ですか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------|
| 1. 組合執行部内での組織化方針の決定 | 4. 非正規労働者への説明・説得 | 7. 特に苦労はしなかった |
| 2. 組合支部役員への説明・説得 | 5. 会社の理解・同意を得る | |
| 3. 正社員組合員の理解を得る | 6. その他(_____) | |

問22 貴組合は、現在、組織化していない非正規労働者の組織化を検討していますか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

1. 検討している⇒ 附問へ 2. 検討していない ⇒ 問23へ 3. 未組織の非正規労働者はいない ⇒ 問23へ

附問 問22で1を選んだ方におうかがいします。現在、どの非正規労働者の組織化を検討していますか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1. パート 2. 契約社員 3. 定年後の再雇用者（嘱託を含む） 4. その他（ ）

⇒問23へ

問23 組合の加入資格を持つ非正規労働者の加入資格等、組織化の概要をお答えください。また正社員についてもご回答ください。その他の場合は、括弧内に具体的な名称をお書きください。

ご記入にあたって

「組合加入資格を与えた年」は、西暦でご記入ください。同一の雇用形態で、複数回に分けて組織化をされた場合は、直近の年数をご記入ください

	例 パート	パート	契約社員	定年後の雇用者 (嘱託を含む)	その他 ()	正社員
(1) 組合加入資格を与えた年	(2004)年	()年	()年	()年	()年	()年
(2) 組合加入資格	あてはまる番号すべてに、○をつけてください。					
1. 全員	1	1	1	1	1	1
2. 一定の社内資格・等級以下	2	2	2	2	2	2
3. 一定の役職以下	3	3	3	3	3	3
4. 労働時間 ⇒週〇〇時間以上	④ (20) 時間以上	4 () 時間以上	4 () 時間以上	4 () 時間以上	4 () 時間以上	4 () 時間以上
5. その他	5	5	5	5	5	5
(3) ショップ制の種類	あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。					
1. ユニオンショップ	①	1	1	1	1	1
2. オープンショップ	2	2	2	2	2	2
3. クローズドショップ	3	3	3	3	3	3
(4) 組合員に付与される権利	あてはまる番号すべてに、○をつけてください。					
1. 組合役員選挙権	①	1	1	1、	1	1
2. 支部役員への被選挙権	②	2	2	2	2	2
3. 本部役員への被選挙権	③	3	3	3	3	3
4. 組合からの慶弔金の支給	4	4	4	4	4	4
5. 共済事業の利用資格	⑤	5	5	5	5	5
(5) 組合費の決め方について	あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。					
1. 定額で全組合員同額	1	1	1	1	1	1
2. 定額で正社員より安い	②	2	2	2	2	
3. 定率で全組合員同率	3	3	3	3	3	3
4. 定率で正社員より低い	4	4	4	4	4	

問24 非正規労働者を組織化してから、貴組合の活動は変化しましたか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. 引き続き、正社員のための活動が中心である | 3. どちらかといえば、非正規労働者のための活動が中心になった |
| 2. 正社員のための活動が中心であるが、非正規労働者のことも考えるようになった | 4. 非正規労働者のための活動が中心になった |

問25 その変化に対して、組合員から不満は出ましたか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | | | |
|----------------------|--------|---------------|--------|
| 1. 正社員と非正規労働者から不満が出た | ⇒ 附問1へ | 4. その他 () | ⇒ 附問1へ |
| 2. 正社員から不満が出た | ⇒ 附問1へ | 5. 特に不満は出なかった | ⇒ 附問2へ |
| 3. 非正規労働者から不満が出た | ⇒ 附問1へ | | |

附問1 **問25で1~4を選んだ方におうかがいします。** 組合員から出された不満に対して、貴組合は、どのように対応されましたか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 当該組合員の不満を聞き、組合活動に理解を求めた | 4. その他 () |
| 2. 当該組合員の不満に対応することを約束した | 5. 特に何もしていない |
| 3. 当該組合員の不満に対応した (具体的に:) | |

⇒問32へ

附問2 **問25で5を選択された方におうかがいします。** 不満が出なかった理由として、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1. 組合活動のなかで、組合員に対して説明をしているから
2. 日常的に、組合員とのコミュニケーションをはかっているから
3. これまで正社員組合員のための活動を十分おこなってきたから
4. これまで非正規労働者の組合員のための活動を十分おこなってきたから
5. 組合員は、組合活動に対して関心が低いから
6. その他 ()
7. そもそも組合員の不満につながるような問題はない

⇒問32へ

問17で「3. 組合加入資格はないが、現在、組織化の方向で検討している」と回答した方におうかがいします (問26～問29)。

問26 現在、どの雇用形態の非正規労働者の組織化を検討していますか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | | | |
|--------|---------|---------------------|------------|
| 1. パート | 2. 契約社員 | 3. 定年後の再雇用者 (嘱託を含む) | 4. その他 () |
|--------|---------|---------------------|------------|

問27 貴組合は、組織化の対象となる非正規労働者に組織化の方針を伝えましたか。その方針を伝えたのはいつですか。複数の雇用形態の組織化を検討されている場合は、人数が多い雇用形態でお答えください。

- | | | |
|-----------|----------|------------------------|
| 1. 伝えていない | 2. 伝えている | ⇒はじめて方針を伝えた年: 西暦 () 年 |
|-----------|----------|------------------------|

問28 貴組合は、会社に非正規労働者の組織化を申し入れましたか。あてはまる番号を1つに、○をつけてください。また、はじめて会社側に伝えたのは、いつですか。**複数の雇用形態の組織化を検討されている場合は、人数が多い方でお答えください。**

1. 申し入れていない 2. 申し入れた ⇒はじめて申し入れた年： 西暦（ ）年

問29 非正規労働者の組織化への取り組みに対して、現在、以下の人たちはどのような態度を示しましたか。それぞれについて、あてはまる番号1つに、○をつけてください。**複数の雇用形態の組織化を検討されている場合は、人数が多い方でお答えください。**

	積極的	やや積極的	どちらともいえない	やや消極的	消極的
a. 貴組合の上部団体	1	2	3	4	5
b. 貴組合の組合員	1	2	3	4	5
c. 対象となる非正規労働者	1	2	3	4	5
d. 会社側	1	2	3	4	5

⇒問 32 へ

問 17 で「4. 組合加入資格はなく、現在、特別に組織化の取り組みはしていない」と回答した方におうかがいします（問 30～問 31）。

問30 今後、2年以内に、貴組合は非正規労働者の組織化を検討する予定がありますか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1. 非正規労働者が増加すれば検討する 5. 会社の賛同を得られそうなら検討する
 2. 非正規労働者から要望があれば検討する 6. その他
 3. 上部団体から指導や支援があれば検討する (具体的に：)
 4. 組合員の賛同を得られそうなら検討する 7. 組織化の検討はしない

問31 貴組合が非正規労働者の組織化に取り組まれていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1. 組織化に対して、経営側の賛同を得にくいから
 2. 組織化に対して、職場の非組合員の正社員（管理職など）の賛同を得にくいから
 3. 組織化に対して、正社員組合員の賛同を得にくいから
 4. 非正規労働者が、組合活動に無関心だから
 5. 非正規労働者が、会社の事業活動に対して無関心だから
 6. 外部の労働組合に加入している非正規労働者がいるから
 7. 組織化に対して、上部団体が積極的ではないから
 8. 組織化すると、組合内で正社員と非正規労働者の利害を調整するのが難しくなるから
 9. 組織化すると、組合財政が悪化するから
 10. 組織化しても、非正規労働者の雇用を守るのが難しいから
 11. 組織化しても、非正規労働者の処遇改善には結びつきにくいから
 12. 非正規労働者の処遇については、関連する法律を守っていればよいから
 13. 非正規労働者の処遇については、労使間ですでに話し合っているから
 14. 非正規労働者の組織化よりも、非正規労働者の正社員登用を優先したいから
 15. 他の組合活動で手いっぱいだから
 16. 非正規労働者はほとんどいないから
 17. その他（具体的に：)

⇒問 32 へ

すべての方におうかがいします。以下の設問では、貴組合全体の取り組みを念頭において、お答えください。

4. 非正規労働者への取り組みについて

問32 非正規労働者から、貴組合に対して、寄せられた要望にはどんなものがありますか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|---------------------|------------------------|
| 1. 賃金制度の導入・整備 | 7. 雇用の継続・安定 | 13. 正社員との分業の明確化 |
| 2. 正社員の賃金制度との接続 | 8. 勤務時間帯の適正化 | 14. 教育訓練制度の整備・充実 |
| 3. 時給の引き上げ | 9. 休日・休暇の取得促進 | 15. 労働安全衛生管理の充実 |
| 4. 一時金の導入や支給額の引き上げ | 10. 仕事と育児の両立支援制度の適用 | 16. 福利厚生制度の適用範囲の拡大 |
| 5. 退職金の導入や支給額の引き上げ | 11. 仕事と介護の両立支援制度の適用 | 17. その他() |
| 6. 評価制度の導入や改善 | 12. 正社員登用制度の導入・改善 | 18. 要望がよせられたことはない⇒問33へ |

附問 問32で1～17に回答した組合におうかがいします。ご回答頂いた選択肢のうち、非正規労働者が現在とくに強く要望しているものを3つまで選んで、下記に番号でご記入ください。またそれぞれの要望に対して、現在の取り組み状況をお答えください。

特に強く要望しているもの(問32から3つまで選択)	()	()	()
	↓	↓	↓
取り組みの進捗状況(下記から1つずつ選択)	()	()	()



- | | |
|--|------------------------|
| 1. 執行部内で要望の内容について議論した | 4. 会社との話し合いの結果、要望を実現した |
| 2. 要望の実現を運動方針に盛り込んだ | 5. その他 |
| 3. 労使協議や団体交渉の場で、会社と話し合った
又は話し合い中である | (具体的に:) |
| | 6. 取り組んでいない |

問33 非正規労働者からの要望の有無に関わらず、貴組合は非正規労働者の処遇改善に関して、何を実現しましたか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|---------------------|------------------|
| 1. 賃金制度の導入・整備 | 7. 福利厚生制度の適用範囲の拡大 | 13. 正社員との分業の明確化 |
| 2. 正社員の賃金制度との接続 | 8. 勤務時間帯の適正化 | 14. 教育訓練制度の整備・充実 |
| 3. 時給の引き上げ | 9. 休日・休暇の取得促進 | 15. 労働安全衛生管理の充実 |
| 4. 一時金の導入や支給額の引き上げ | 10. 仕事と育児の両立支援制度の適用 | 16. 雇用の継続・安定 |
| 5. 退職金の導入や支給額の引き上げ | 11. 仕事と介護の両立支援制度の適用 | 17. その他() |
| 6. 評価制度の導入や改善 | 12. 正社員登用制度の導入・改善 | 18. 実現したことはない |

問34 貴組合では、非正規労働者の意見を収集するために、どのような活動をしていますか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 非正規労働者のリーダー層と意思疎通を図る | 6. 組合に対する非正規労働者の要望を集める |
| 2. 非正規労働者との意見交換の場所や懇談会を設ける | 7. 非正規労働者問題を担当する役員をおく |
| 3. 非正規労働者が運営する組織(協議会など)を設立する | 8. 組合主催のイベント(レクリエーション等)への参加を促す |
| 4. パンフレット配布など組合のPR活動を行う | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 組合活動について非正規労働者に説明する | 10. 特に何もしていない |

問35 貴組合が非正規労働者の意見を収集し、その意見に対応した結果、どんな変化（成果）があったと思いますか。

あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1.	会社に対する組合の交渉力が高まった	10.	非正規労働者の生産性が向上した
2.	事業所における過半数組合の立場を維持できた	11.	非正規労働者の雇用を守ることができた
3.	組合活動が全体的に活発になった	12.	非正規労働者が経営に関心を持つようになった
4.	正社員と非正規労働者の関係がよくなった	13.	非正規労働者の意欲が向上した
5.	正社員の雇用を守ることができた	14.	非正規労働者の賃金制度の整備が進んだ
6.	正社員の労働条件を守ることができた	15.	非正規労働者の意見を組合活動に反映できるようになった
7.	非正規労働者の苦情に対応しやすくなった	16.	非正規労働者の能力開発の機会が増えた
8.	非正規労働者の福利厚生制度が充実した	17.	その他 ()
9.	非正規労働者の自己都合退職が減少した		

問36 リーマンショック（2008年9月）以降、貴組合は、業績悪化とそれに伴う労働条件の悪化に対して、どのような対応をされましたか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| 1. 経営側と経営再建策について協議をした | 6. 組合員とともに業務の効率化に努めた |
| 2. 組合内で経営再建策を議論し、会社に提言した | 7. 職場の一体感の維持に努めた |
| 3. 組合員（非正規労働者を含む）の雇用を維持するよう、会社に要請した。 | 8. その他（具体的に：) |
| 4. 企業の業績を組合員に説明した | 9. 特に何もしなかった |
| 5. 会社存続のために、賃金カットに応じた | 10. 業績はそれほど悪化しなかった |

問37 リーマンショック後の貴組合の組合員数はどうなりましたか。あてはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 正社員と非正規労働者の組合員数は変わらなかった | 4. 正社員と非正規労働者の組合員数が減った |
| 2. 正社員の組合員数だけが減った | 5. その他() |
| 3. 非正規労働者の組合員数だけが減った | 6. わからない |

全ての方におうかがいします。貴社と貴組合について、お答えください

貴社について

F1 貴社の設立年を教えてください。西暦()年

F2 貴社と貴組合との関係（労使関係の状況）は、以下のどれにあてはまりますか。あてはまる番号を1つに、○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-----------|--------------|-----------|
| 1. 良好 | 2. まあまあ良好 | 3. あまり良好ではない | 4. 良好ではない |
|-------|-----------|--------------|-----------|

F3 3年前と比較して、貴社の従業員数はどのように変化していますか。雇用形態別にあてはまる番号それぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	大幅に増加	やや増加	変わらない	やや減少	大幅に減少
正社員	1	2	3	4	5
パート	1	2	3	4	5
契約社員	1	2	3	4	5
定年後の再雇用者	1	2	3	4	5

F4 貴社の業種を教えてください。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。複数の業種にわたる場合は、主たる業種でお答えください。

- | | | |
|------------------|--------------------|-----------------------|
| 1. 建設業 | 7. 金融業、保険業 | 13. 医療、福祉 |
| 2. 製造業 | 8. 不動産業、物品賃貸業 | 14. 複合サービス事業 |
| 3. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 学術研究、専門・技術サービス業 | 15. サービス業（他に分類されないもの） |
| 4. 情報通信業 | 10. 宿泊業、飲食サービス業 | 16. その他 |
| 5. 運輸業、郵便業 | 11. 生活関連サービス業、娯楽業 | （具体的に： _____ ） |
| 6. 卸売業、小売業 | 12. 教育、学習支援業 | |

貴組合について

F5 貴組合の設立年を教えてください。西暦（ _____ ）年

F6 貴組合の本部の所在地を教えてください。 _____（ _____ ）都・道・府・県

F7 2016年6月30日現在の貴社の総従業員数と総組合員総数をお答えください。該当する従業員がいない場合は「0」を記入してください。回答対象者が問2と同じ場合は、ご回答いただく必要はありません。

		総従業員数	総組合員数	
				うち専従者数
正社員		(_____) 人	(_____) 人	(_____) 人
非正規労働者	パート	(_____) 人	(_____) 人	(_____) 人
	契約社員	(_____) 人	(_____) 人	(_____) 人
	定年後の再雇用者（嘱託を含む）	(_____) 人	(_____) 人	(_____) 人
	その他（ _____ ）	(_____) 人	(_____) 人	(_____) 人
合計		(_____) 人	(_____) 人	(_____) 人

F8 現在、貴組合が抱える課題は何ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。なおここでいう従業員には、正社員と非正規労働者が含まれます。

- | | | |
|--------------------|-----------------|--------------|
| 1. 労働条件の見直し（賃金を除く） | 5. 事業所の生産性の向上 | 9. 事業所の雰囲気改善 |
| 2. 賃金制度の見直し | 6. チームワークの改善 | 10. その他 |
| 3. 従業員の意欲の向上 | 7. スムーズな技能伝承の実現 | （ _____ ） |
| 4. 従業員の教育訓練の充実 | 8. 事業所の高齢化対策 | 11. とくに課題はない |

ご協力、誠にありがとうございました。なお調査結果の概要を希望される方は、別送しました送付先記入用紙に記入していただき、調査票と同封してご返送ください。